

磯辺公民館だより

つどい・まなび・つなぐ

TEL 278-0033

令和 6 年 2 月

リベンジ韓国旅行

木村 重雄

日没の時刻が少しずつ遅くなり、早春の日差しを感じられるようになってきました。

初めに、令和 6 年元旦に発生しました能登半島地震で被災し亡くなられた方々、羽田空港で発生した JAL 機と海上保安庁機の接触事故で犠牲になられた海上保安庁の職員の皆様に心より哀悼の意を表すとともに、被災された方々におかれましては心よりお見舞い申し上げます。

今回の地震への対応では、日本海側特有の災害も多くありましたが、日本において近年経験した大地震の教訓が活かされた面も多くあるように感じます。磯辺公民館においても文化祭の時に起震車による大地震体験を実施しましたが、普段からの備えの大切さを改めて感じています。また、羽田の C 滑走路は昨年末に、7 月雨に降られたリベンジで再渡韓した際、着陸した滑走路でしたので、とても衝撃でした。飛行機に搭乗した際、毎回 CA さんによる非常時の対応について説明がありますが、その繰り返し伝えていた事が今回の事故の避難の際に役に立ったのだらうと思います。搭乗の度に毎回聞かされて、最近いい加減に聞いていた自分を反省しました。今後搭乗の際には自分自身の安全を確保するためにも非常出口の位置、救命胴衣の装着方法、脱出用スライド使用時の注意点など毎回しっかり確認するようにしたいと思います。

磯辺公民館においても毎年 2 回避難訓練を実施しております。8 月 31 日には「チロル FDC」様に協力していただき、駐車場まで避難誘導訓練を実施しました。災害はいつ発生するかわかりません。防災に関して再確認した年始になりました。

さて、夏の旅行で雨に降られたリベンジで年末に韓国にまた行ってきました。今回はソウルではなく東海岸にある地方都市の束草（ソクチョ）に行きました。夏に行った烏頭山統一展望台は朝鮮半島の西側の北朝鮮との軍事境界線ですが、束草は東側の軍事境界線で、北朝鮮にある金剛山を望む事ができる高城統一展望台に行く中継地点です。束草市はまだ鉄道が通ってなく、ソウルから高速バスで 3 時間程かかります。韓国は最近では鉄道網も発達していますが、地方都市に行くには高速バスのネットワークも発達しており便利です。束草の高速バスターミナルから高城統一展望台は 55Km 程北に位置しますが、公共交通機関がないので個人タクシーをチャーターすることにしました。そのタクシーは EV（電気自動車）で現代自動車のアイオニックという車種でした。初めて EV に乗りましたが、静かで乗り心地も快適で驚きました。その展望台に入場するには途中で民間人統制区域のため、展望台の約 9km 南にある「統一安



高城統一展望台

公園」で出入申告(要パスポート)・入場料支払いの後、進むことができます。検問所でタクシー運転手が自動小銃を所持した韓国兵に私の申告書を提示すると「日本人か」と言って物珍しそうな目で私を見ました。少し緊張しましたが、一人でタクシーに乗ってここへ来る日本人はそんなにいないのだろうと感じました。海の近くの高台にある展望台に着くと快晴で、目指していた金剛山は少し雪化粧をしていました。しかしその手前には鉄条網は張り巡らされた軍事境界線が広がっていました。浜辺にも鉄条網が張ってあり海からの侵入を防ぐ施設がありました。国境線の緊張感を感じました。日本の国境は海で隔てられており、地続きの国境がないので実感が湧きませんが、ここに来ると国を守ることの重要性を感じる事ができます。こちらも年始早々、北朝鮮の国会に当たる最高人民会議で金正恩朝鮮労働党総書記が演説し、憲法を改正して韓国を「第 1 の敵国、不変の主敵」と明記すべきだ。という報道があり、今後の状況が心配です。束草に戻る途中は景勝地も多く、金日成の別荘跡や李舜晩韓国初代大統領の別荘跡などを案内していただきました。この続きは誌面の都合で載せられませんが、来館された時館長にお気軽にお声がけください。

安心は常に備えることで得られると思います。身の回りの安全について再確認した年始となりました。



浜辺の鉄条網



北朝鮮にある金剛山

✿主催事業、共催事業

●健康講座 転ばない体をつくろう！「歩く」ための健康体操

2/14（水）、21（水） 10:00～12:00 全2回

対象：成人 15人 申込期間：2/2（金）～2/4（日） 無料

●郷土史講座 鉄オタ先生による千葉の鉄道～発展期・国鉄編～

2/28（土） 10:00～12:00

対象：成人 30人 申込期間：2/2（金）～2/4（日） 無料

※応募者多数の場合は抽選となりますが、皆様のご応募心よりお待ちしております。

図書室だより

🌻2月の展示コーナー ～「春を感じる」～🌻

寒い日が続き、暖かな春が待ち遠しく感じられます。展示コーナーには15日から、春を感じられる本を展示する予定です。すがすがしい春を迎える一助になれば幸いです。下に一部を紹介します。



「こどもの行事 しぜんと生活 3月のまき」 文・絵 かこさとし

ひなまつりなど3月の行事や3月に関連することからをわかりやすく紹介。

「2月のまき・4月のまき」もあります。

「はるですよ」 柴田晋吾 作・広野多珂子 長野ヒデ子 絵

「こんにちは はるですよ」から始まる、野原や町の中のさまざまなようすのおはなし。こころがほっこりします。

「超かんたん弁当」 株式会社ブティック社

春からお弁当作りが始まるという方も多いかもしれません。短時間で作れるスピード弁当や、市販品を使った簡単なおかずなど、お弁当作りのコツを紹介。食は心の豊かさにもつながりそうです。

「春の妖精たち」 奥山多恵子 文・絵

秋が深まり、雪が降り始めた野山。やがて日が長くなり寒さがゆるむと、地面の上や土の中で、さまざまな活動が始まります。スプリング・エフェメラルとよばれる植物たちのようすが紹介されています。

「あたりまえだけどなかなかできない 仕事のルール」 浜口直太 著

4月から新社会人という方。やる気、素直さ、体力など数々の優れたものを持っている若い人に、社会や会社組織であたりまえとされているルールを早く知り、実践しても良位タイという思いで書かれた本です。